

実行するだけでカーボンニュートラルにつながる！

地球にもお財布にもやさしい 脱炭素アクション

3つのこと



1 かえる

意識を変える
道具を換える
行動を変える

① 車に乗る際はムダなアイドリングはやめよう

ちょっとしたお買い物などの駐車の際、エンジンをかけっぱなしにしていますか？

1日10分間のアイドリングを止めた場合 ※1L=175円と仮定

1年間の省エネ効果
ガソリン51.1Lの省エネ
CO₂削減量32.85kg・約8,940円の節約



② 入浴は間隔をあけずに入ろう

追い焚きを1日1回減らした場合(2時間放置により4.5℃低下したお湯)

1年間の省エネ効果
ガス38.20m³の省エネ
CO₂削減量85.7kg・約6,190円の節約



③ シャワーは不必要に流したままにしない

45℃の湯を流す時間を1分間短縮した場合

1年間の省エネ効果
ガス12.78m³の省エネ・水道4.38m³の節水
CO₂削減量28.7kg・約3,210円の節約



この地球を守るもこわすも人しだい
脱炭素未来のために今アクション
選ぶなら省エネ家電をエコひいき
(小学生の部)
(中学生の部)
(一般の部)

令和6年度ランプリ作品
カーボンニュートラル標語コンテスト

2 つくる

エネルギーを創る
地域活力を作る



① 高断熱・高气密性能住宅「やまがた省エネ健康住宅」とあわせて、太陽光発電設備などの設置を検討している方へ

やまがた省エネ健康住宅・
再エネ設備パッケージ補助金



② 家庭・事業所における再生可能エネルギー等設備の導入を検討している方へ(蓄電池設備、木質バイオマス燃焼機器、地中熱利用装置など)

やまがた未来(みら)くるエネルギー補助金



3 かかわる

自分ごととして
積極的に参加する

① 学校の授業やPTA活動、自治会や会社の研修会で環境教室を開きたい方へ

環境教室(職員出前講座)



県内に広がる脱炭素アクションの輪

将来を担う小・中・高校生が「やまがたカーボンニュートラル大使」となり、学校での省エネや新たな発電方法の研究、リポーターとして県内の取組みを紹介する活動をしています。

また、企業にも脱炭素の取組みが求められている中、県では、県内の中小企業を対象に、省エネ推進や再エネ導入、サプライチェーンへの拡大といった脱炭素経営促進に関するセミナーを開催しています。

二酸化炭素を減らす意識・行動はもちろん、二酸化炭素を吸収してくれる森林への関わりも大事です。県産材を購入し利用することは、林業の振興につながり、適切に整備された森林は二酸化炭素の吸収源として最大限に機能するようになります。

こどもたちの未来のため、



小杉の大杉(鮭川村)
やまがたの森林

地球のため、このふるさと山形県のために、できることから脱炭素に取り組んでいきましょう！

▶問い合わせ ◎ 環境企画課 ☎023-630-2336



特集

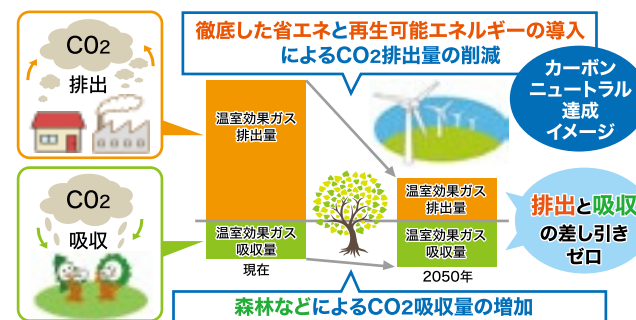
みんなの地球のためにチャレンジ! カーボンニュートラル やまがた県民運動



やまがた環境展2024

カーボンニュートラルとは…

二酸化炭素(CO₂)などの温室効果ガスの空気中に出る量と吸収される量を均衡させて、温室効果ガスを増やさないようにすること



あなたの排出しているCO₂は何トン?

測ってみよう!

デカボMYスコア

あなたは日常生活で
CO₂を何トン排出しているでしょう…?

脱炭素(デカボ)への個人の貢献度合いをスコア化できるツールを県内初導入!生活におけるCO₂排出量を簡単に推計できます!登録不要!簡単な質問に答えるだけ♪



猛暑や大雨が増えているのはなぜ?

近年、全国各地で猛暑日の最多記録を更新し、集中豪雨などの気象災害が頻発・激甚化しています。昨年7月の大雨は、本県で発生した水害としては過去最大の被害をもたらしました。これらは、地球温暖化がその一因と言われています。

地球温暖化が進むとどうなる?

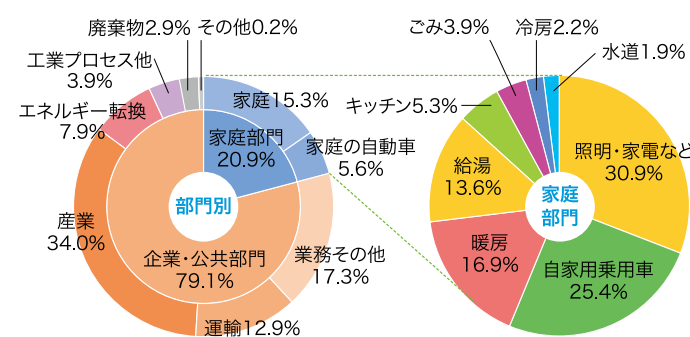
熱中症患者や気象災害の増加のほか、農業が盛んな本県で、気温が高い日が続けば、品質や収量に影響し、おいしいお米やさくらんぼを作ることが難しくなります。

地球温暖化を防ぐため、全国で2050年までにカーボンニュートラルの実現に向けた取組みが進められています。

県民総ぐるみの運動があるの?

温室効果ガスは主に工場などから排出されると思われがちですが、実は私たちの家庭からも多く排出されています。本県は、冷房・暖房の使用が多いことや車社会であることから、家庭および自動車から排出され

家庭からもたくさんのCO₂が排出されている!



温室効果ガス排出割合(2022年度/全国)
(出典)国立研究開発法人 国立環境研究所

る割合が大きくなっています。県民一人ひとりが地球温暖化の問題を「自分ごと」として捉え、自ら行動していくことが重要です。

県では、「ゼロカーボンやまがた2050」を宣言し、県民、事業者、行政がカーボンニュートラル実現に向けて主体的に行う取組み(かえる・つくる・かかわる)を「カーボンニュートラルやまがたアクションプラン」としてまとめています。

さらに、同プランに基づき、「カーボンニュートラルやまがた県民運動」を実施しています。